2014年10月28日(火)

13:00~16:45 (12:30開場)

せんだいメディアテーク

7階スタジオシアター

対象：市民向け

定員：180名(当日先着順)

参加費：無料

司会 大野晋 (東北大学)

13:00-13:10 開会挨拶 (吉野博 日本建築学会会長・東北大学名誉教授)

13:10-13:25 趣旨説明 (源栄正人 日本建築学会・東北支部長・東北大学教授)

第1部

13:25-15:10 東日本大震災の教訓と防災・減災上の課題

- 東北地方太平洋沖地震の振動被害例紹介と今後の課題 (木村祥裕 東北大学教授)
- 東北地方太平洋沖地震による津波被害を受けたコンクリート材料の塩分浸透状況に関する調査 (石山智 秋田県立大学助教)
- 津波被害事例分析と最近の取組み (高橋典之 東北大学准教授)
- 仙台市の造成宅地における地震被害について (三辻和弥 山形大学准教授)
- 地震による組積造塀の被害実態と対策の効果 (最知正芳 東北工業大学教授)
- 建築設備の被害と対策のこれから (赤井仁志 北海道大学客員教授)

第2部

15:20-16:40 東日本大震災の教訓と復旧・復興上の課題

- 文化財ドクター派遣事業の総括 (永井康雄 山形大学教授)
- 公共施設の被災から復旧にみるプロセスデザイン (坂口大洋 仙台高専教授)
- 震災復興計画のターミナル・ケア (増田聡 東北大学教授)
- 「石巻市北上町まちづくり委員会支援」と「復興シンポジウム・みやぎボイス」
-JIA宮城(日本建築家協会東北支部宮城地域会)の復興支援活動- (手島浩之 JIA宮城復興支援委員長)
- 16:40-16:45 閉会挨拶 (薛松濤 東北工業大学教授)

災害に強いまちづくり
シンポジウム
被災地からの発信

主催：日本建築学会東北支部、日本建築学会災害委員会

後援：日本建築士会連合会、日本建築士事務所連合会、日本建築家協会、建築業協会、日本建築構造技術者協会